

■平成27年度執行目標（達成状況） 上下水道部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目 (単位)	根拠計画 等	H27 実績値	H27 目標値
上下水道部	水道業務課	1	水道料金等の新たな収納方法の検討	現在、電気・ガス・通信等をはじめとした各公共料金のクレジットカード払いが一般化している中で、本市水道料金の納入に対しても非常に多くの問合せや強い要望があることから、新たな収納方法の導入検討を行い、お客さまサービスの向上や収納の向上を目指す。	概ね達成	他団体の事例及び電算システムについて研究・調査し、クレジットカード払いを含めた次期電算システムの導入に向け公募型プロポーザルを開始した。				
上下水道部	水道業務課	2	水道料金審議会の開催	前回の答申において、「5年を目途に一考する」と提言されており、これまでの経営状況の検証、経営改善策、施設更新計画を含めた財政収支見通しを明らかにし、水道料金のあり方について検討を行う。	概ね達成	水道料金及び公共下水道使用料審議会を立ち上げ、水道料金のあり方について諮問し、決算状況の分析や財政収支計画について審議を進めることができた。				
上下水道部	水道工務課	1	石綿管暫定更新計画の策定	単独施工にかかる石綿管の暫定更新計画を策定する。	概ね達成	木津川市一円にある石綿管約4700m（計画策定に伴う洗い出しの結果、単独・関連施工合算）の更新計画（平成28年度～平成32年度・5か年計画）を策定し、平成28年度から事業化する予定である。		水道ビジョン		
上下水道部	水道工務課	2	水道施設の操作マニュアルの作成	水道施設の突然の故障や事故に対する必要な計装器や機械類の操作方法について、水道施設の維持管理担当者以外でも操作できるように操作マニュアルを作成する。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	ポンプ等の機械類がある56の水道施設を対象にマニュアルが必要である施設かどうかの調査を行い、マニュアルの作成が必要である37の水道施設に対して操作方法のマニュアルを作成した。このマニュアルにより緊急時や新たな水道施設維持担当の参考として活用していく。また、マニュアルについても今後施設の更新や機器の取替に対応して更新していく。				
上下水道部	下水道課	1	汚水処理施設の概成に向けて	京都府水洗化総合計画2010の見直しに併せ、平成32年度までに汚水処理施設整備の概成（短期アクションプラン）と、長期的(30年)な観点から効率的な改築・更新や運営管理手法（長期アクションプラン）の策定を行う。	概ね達成	平成32年度、汚水処理施設整備の概成に向け財政負担と住民負担のバランス並びに整備時期を考慮し、アクションプランを作成できた。今後は、個別処理地域住民の理解を得ながら持続的な汚水処理施設の整備を図る。				
上下水道部	下水道課	2	下水道事業会計への地方公営企業法適用業務の推進	下水道事業の経営の健全化、経営状況の明確化を目的に、平成29年度からの地方公営企業法の適用に向け、昨年度に引き続き、現有資産の調査・評価及び関係職員の知識習得のための研修並びに情報共有のための担当者会議等を必要に応じ実施するとともに、企業会計への移行に伴い必要となる公営企業会計システム等の導入を図る。	概ね達成	会計システム構築事業者の選定事務が当初の予定より1.5か月程度遅れたものの、概ね順調に作業は進んでいる。移行まであと来年度1年となり、関係各所と十分調整を図る。				